

日本睡眠検査学会

2021年度（2021年9月～2022年8月）事業報告

理事長 八木 朝子

（1）法人組織運営

1. 学会運営に関して、総務委員会を中心に執り行った。

（2）学術集会開催事業

1. 第2回学術集会を大会長上野勝、副大会長高谷恒範にて、2021年11月13日（土）12月5日（日）オンデマンド配信にて開催した。
2. 第1回に続き、プロコムインターナショナルを配信会社に選定した。委託費を差し引いた上、黒字決算となり収支上の成功を収めた。
3. 参加者数の総計は317名（会員294名、非会員23名）であり、第1回（329名）に続き、300名以上の参加者となった。
4. 企画は、教育講演3題、シンポジウム2題（基調講演含む）、組織調査報告1題、一般演題19題であり、第1回の9題から増加していた。
5. 後援団体11団体、広告（抄録+WEB）企業9社、寄付1社であった。
6. 第3回学術集会を大会長高津昌吾、副大会長小川清司にて、テーマを「みんなの睡眠検査 ～睡眠検査の裾野を広げる～」として、2022年11月12日（土）～12月4日（日）オンデマンド配信にて開催の予定である。

（3）支部例会活動

1. 8支部の全てにおいて、ウェブによる支部例会の開催を行った。
2. 開催方式では、オンデマンド配信、ライブ配信、ハイブリット（現地+オンデマンド）配信と、各支部色のある運営を行った。
3. 新しい話題と基本的内容の両者を含むバランス良いプログラムであった。

（4）日本睡眠学会との協働関係構築

1. 第2回学術集会より参加の日本睡眠学会認定検査技師に対して、日本睡眠学会の認定更新単位が5単位付与されるようになった。
2. 日本睡眠学会からの派遣理事2名のうち、理事長枠としての派遣が内山先生から内村直尚先生へと変更になった。

（5）学会新規活動

1. 第1回講習会「PSG解析の精度を高めるための基礎知識」のテーマで、2022年2月4日（金）～18日（金）オンデマンド配信で行い、聴講者は200名であった。
2. PSG精度管理委員会から、教育資料が学会HPにて公開された。

（6）財務活動

1. 2021年度決算と、2022年度学会予算の作成を行なった。
2. 学会で統一設定された経費（交通費、謝金など）にて運用を行った。